

事務事業名		水道施設整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備								
根拠法令		大船渡市水道事業の設置等に関する条例		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成14 年度 ～ 平成32 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		水道	01	01	02	
所属	部課名	水道事業所								
	課長名	中井 吉隆								
	係 名	工務給水係	電話							0192-27-3111
	担当者	佐藤 悦夫	内線	176						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
本事業は、未給水地域の解消及び高台等の水圧不足対策を目的に、水道事業経営変更認可(平成14年3月)を受け、水道施設(浄水場1箇所、配水池及び導送配水管)の新設事業を実施する。 主な事業内容は、川原ポンプ場、川原配水池(15年度完成)、冷清水ポンプ場、野尻配水池(16年度完成)、第4浄水場敷地造成、配水池(20年度完成)、第5水源電気室(21年度完成)の建設及び導・送・配水管の新設工事(14～27年度)、平山ポンプ場(26～28年度)、配水池(26～29年度)、第4浄水場(28～32年度)である。 平成25年度からは、日頃市町内の未給水地域を中心に整備を進めることとしている。 事業費は、工事請負費、測量・設計委託料、用地・補償費等である。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債	4,469,300	
								その他	1,721,699	
								一般財源	360,000	
								事業費計(A)	6,550,999	
人件費	正規職員従事人数	5								
	延べ業務時間	55,500								
	人件費計(B)	222,000								
	トータルコスト(A)+(B)	6,772,999								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
	配水管布設工事 2件 調査設計 3件	
	今年度計画(今年度に計画している主な活動)	
	配水管布設工事 2件、配水施設等設計 2件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	未給水地域 水圧不足地区	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	未給水地域及び水圧不足地区の解消を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	安全な水が安定して供給される。	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円		24,200	63,500	124,600	139,600	300,500
		その他	千 円		685	15,988	1,364	2,526	33,000
		一般財源	千 円	15,889	6,599	51,359	29,539	114,900	
	事業費計 (A)		千 円	15,889	31,484	79,488	177,323	171,665	448,400
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時 間	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
		人件費計 (B)	千 円	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	28,689	44,284	92,288	190,123	184,465
⑤活動指標		ア	m	650	605	459	4,118	2,107	3,000
		イ	箇所	0	0	0	0	0	0
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	2,006	1,991	2,067	2,068	2,041	2,060
		キ	箇所	4	4	4	4	4	4
		ク							
⑦成果指標		サ	箇所	0	0	0	0	0	0
		シ	箇所	1	0	0	0	0	0
		ス							

事務事業ID	0318	事務事業名	水道施設整備事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
昭和29年4月、上水道供用開始以来拡張を重ね、平成2年5月、現給水区域に拡張した事業認可を得た。その後、人口動向や水道事業を取り巻く情勢の変化などにより修正を加え、平成14年3月に変更認可を受け、現在継続して事業を実施している。 平成26年3月には、防災集団移転に伴う給水区域の拡張と新たに湧生水源を追加する変更認可を受けた。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
①水道施設整備の実施とともに未給水地区は減少しているが、給水工事に多額の費用を要する場合があります、上水道加入に時間を要している。 ②上水道加入後には水道料金が発生することから、引き続き自家用の水道を利用する世帯が散見される。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
①新規給水管工事において、配水管が近くにない場合、個人の費用負担が大きくなるので、住民から配水管網の整備と給水管工事に対する助成の要望がある。 ②高台等の水圧不足地区の住民から、水圧改善の要望がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	水道施設の整備を実施することにより、市民に安全な水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	水道事業は公営企業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	平成14年に変更認可を受け、適切な長期計画を立案し、実施している。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	未給水地域及び水圧不足地区の解消には多額の投資を要することから、計画的な整備が不可欠である。	
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	未給水地域及び水圧不足地区の解消ができない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	現状では他の手段は考えられない。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	施設整備後の維持管理を含め適正な工法を選定しており、これ以上の事業費削減は困難である。また、事業費を削減した場合は、未給水地域及び水圧不足地区の解消に一層の時間を要する。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	これ以上の人件費(監督員)の削減は、不可能である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	最終的には水道料金に転嫁されており、適正である。	

事務事業ID	0318	事務事業名	水道施設整備事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成25年度に策定した水道事業中期経営計画に基づき、日頃市及び立根地区の未給水地域の解消等の施設整備事業を実施した。平成27年度までの予定事業費に対する進捗率は75%となっている。 今後とも、事業の健全な経営を維持するため、計画的な施設整備が必要である。																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 水道事業の健全な経営を維持しながら、未給水地域及び水圧不足地区の解消のため、今後も年次的、計画的に事業を実施する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 東日本大震災からの復旧・復興を最優先に事業に取り組む一方で、従前からの未給水地域の解消や高台等水圧不足対策の水道施設整備事業を計画的かつ重点的に実施することとしており、中期経営計画の進捗管理の徹底を図るとともに、費用対効果に留意し、将来を見据えた計画の見直しを検討する。必要に応じ料金等の改定を実施する。																								

		(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	水道事業所長	中井 吉隆

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																								
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 未給水地域及び水圧不足地区の解消には、多額の投資を要することから、計画的な整備が不可欠である。																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 水道事業の健全な経営を維持しながら、未給水地域及び水圧不足地区の早期解消のため、大船渡市水道事業中期経営計画に基づき計画的に事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項